

製品名: MUTA (4N14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14248**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	83kDa

抗原情報

遺伝子名	MMUT
別名	MCM; Methylmalonyl CoA isomerase; Mut;
遺伝子 ID	4594.0
SwissProt ID	P22033
免疫原	ヒトメチルマロニルCoエンザイム A ムターゼの合成ペプチド

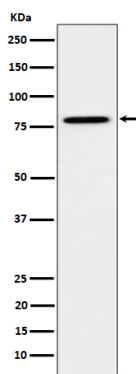
背景

いくつかのアミノ酸、奇数鎖脂肪酸、コレステロールをプロピオニル CoA を介してトリカルボン酸回路へと分解する。MCM は他の種では異なる機能を有する。メチルマロニル CoA (MMCoA) (分岐鎖アミノ酸代謝および食物由来の奇数鎖脂肪酸とコレステロールの分解により生成) からトリカルボン酸回路の重要な中間体であるスクシニル CoA (3-カルボキシプロピオニル CoA) への可逆的異性化を触媒する。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物における MUTA 発現のウェスタンブロット分析。